

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2025年12月19日）

■第2版 第1刷（2023年12月1日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第2章					
76	表5の「起始」の上から2行目	…橈骨神経溝の 内下方 。	…橈骨神経溝の 内側下方 。		25/12/19
76	表5の「起始」の上から4行目	…橈骨神経溝の 外上方 。	…橈骨神経溝の 外側上方 。		25/12/19
76	上から3行目	…橈骨神経溝の 内下方 に位置する。	…橈骨神経溝の 内側下方 に位置する。		25/12/19
76	上から4行目	…橈骨神経溝の 外上方 に位置する。	…橈骨神経溝の 外側上方 に位置する。		25/12/19
82	表9の「停止」の上から4行目	第2中手骨の 底	第2中手骨の 底の背面		25/12/19
82	表9の「停止」の上から6行目	第3中手骨の 底	第3中手骨の 底の背面		25/12/19
82	表9の「停止」の下から1行目	第5中手骨の 底	第5中手骨の 底の背面		25/12/19
83	表10の「起始」の上から5行目	前腕骨間膜の後面の 近位1/2	前腕骨間膜の後面の 中間1/3		25/12/19
第5章					
238	臨床で重要「心拍出量と血圧」下から1行目	…の血液循環量に 相当 する。	…の血液循環量に 依存 する。		25/12/19
第7章					
285	上から2行目	食道 の前方には気管(⇒p.264)が位置する。	食道の長さは約25cmで、その 前方には気管(⇒p.264)が位置する。		25/12/19
286	上から3行目と4行目の間		※幽門部には弁構造はないが、過去の国家試験で「幽門には弁がある」と出題されたことがある。	1文加える	25/12/19
286	上から8行目と9行目の間		※大彎・小彎と記載されることもある。	1文加える	25/12/19
302	上から3行目	嚥下は 5つの過程 、もしくは 3つの相 に区分される。	嚥下は 3つの相 、もしくは 5つの過程 に区分される。		25/12/19
302	上から4行目	1) 嚥下の過程	2) 嚥下の過程	見出し番号の変更により、「嚥下の過程」の内容を図36の下に移動。	25/12/19
302	上から10行目	2) 嚥下の相	1) 嚥下の相	また、該当の目次も変更	25/12/19